

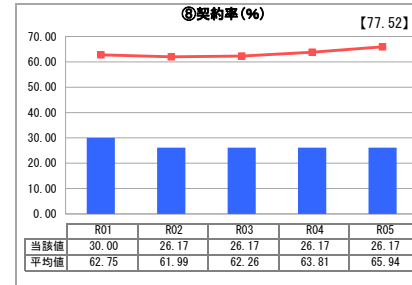
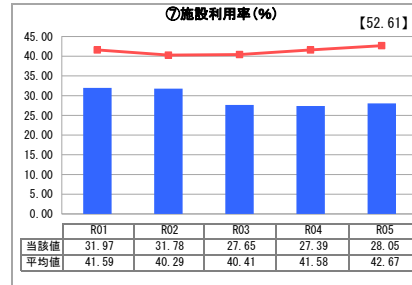
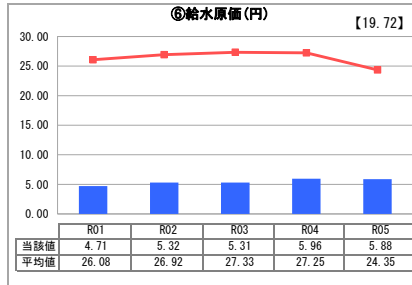
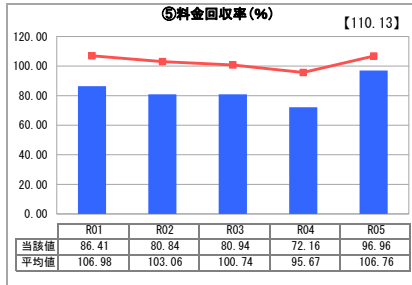
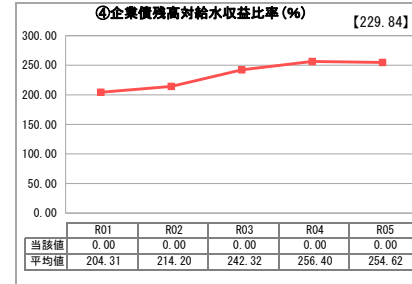
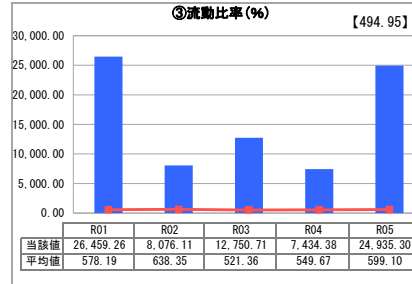
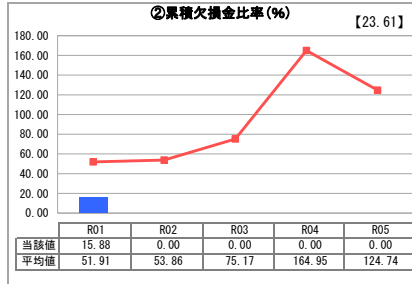
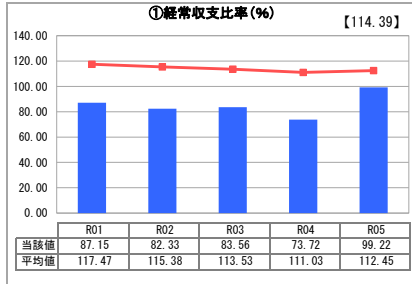
経営比較分析表／団体全体（令和5年度決算）

富山県 高岡市
【事業概要】

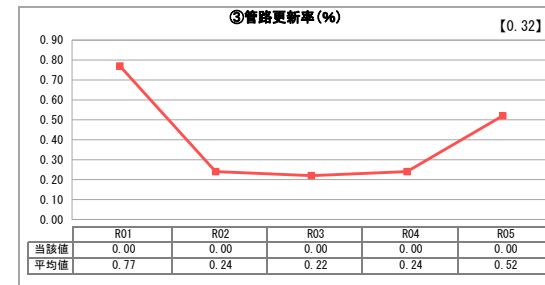
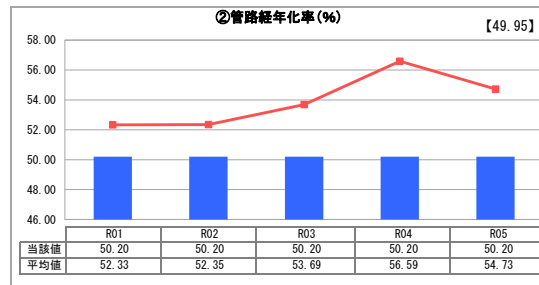
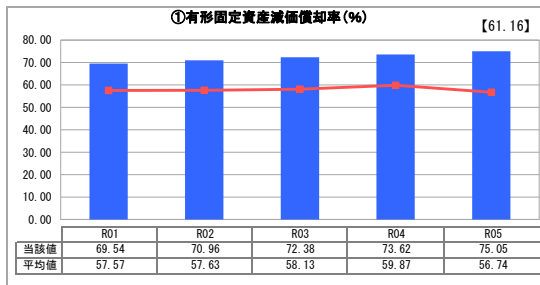
業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	60,000	中規模	1	16,828
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	95.2	3	15,700	自治体職員	

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
□	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・①経常収支比率及び⑤料金回収率は、令和5年度に料金改定を実施したことで前年度より改善している。令和5、6年度を経過措置としており、令和7年度以降は100%を確保できる見込みである。
 ・②利益積立金を取り崩して累積欠損金に充当したことにより、累積欠損金比率は0となっている。
 ・③流動比率は一年以内の短期債務に対して十分な支払能力がある。
 ・④企業債残高対給水収益比率は企業債残高がなく良好な状況である。
 ・⑥給水原価が供給単価を上回っているが、料金改定の経過措置が終わる令和7年度以降は給水原価が供給単価を下回る見込みである。
 ・⑦施設利用率や⑧契約率は、供給先事業者における水のリサイクル化などにより、水需要が減少しており、全国・類似団体平均を下回っている。

2. 老朽化の状況について

・①有形固定資産減価償却率は、年々上昇傾向で推移しており、施設の老朽化が進行していることを示している。
 ・②管路経年率は、当年度に法定耐用年数を迎えた管路がないため、前年度から増減はない。
 ・③管路更新率は、法定耐用年数を超えた管路は存在するが、更新に至っていない。今後、事業運営の在り方を踏まえて検討していく必要がある。

全体総括

・令和5年度に料金改定を実施したことで経営状況は改善している。今後も経営基盤の強化を図っていくとともに、事業運営の在り方について検討していく必要がある。